## 【施設名称OOOO】

土砂災害翯戒避難確保計画

作成年月日：2018 年 7 月

## 1．計画の目的

この計画は，土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関す る法律（以降，「土砂災害防止法」と称す）第八条の二第1項に基づくものであり，本施設の利用者の土砂災害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的 とする。

## 2．計画の報告

計画を作成及び必要に応じて見直し・修正をしたときは，土砂災害防止法第八条の二第2項に基づき，遅滞なく，当該計画を市町村長へ報告する。

## 3．計画の適用範囲

この計画は，本施設に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。
【施設の状況】

| 人 数 |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 昼 間•夜 間 |  | 休 日 |  |
| 利用者 | 施設職員 | 利用者 | 施設職員 |
| 昼 間 | 昼 間 | 休 日 | 休 日 |
| 約 100 名 | 約 30 名 | 約100名 | 約 20 名 |
| 夜 間 | 夜 間 |  |  |
| 約 100 名 | 約 5 名 |  |  |

## 4．土砂災害の危険性および避難対応の把握

土砂災害の危険性について，様式 1－1に本施設周辺の土砂災害警戒区域等を整理するとともに，状況を加味した避難対応を様式1－2に示す。

## ■当該施設で想定される土砂災害の危険性

## 【主担当：施設管理者】

本施設周辺の土砂災害警戒区域等を下図（または別紙）に示す。
年 月 日作成
【イメージ図】


土砂災害警戒情報 5 km メッシュ メッシュ番号

## （様式1－2）

## ■当該施設の避難タイプ（総合判断表）

## 【主担当：施設長 】

本施設の避難タイプを下表に示す。
年 月 日作成

|  |  | 施設の立地•構造•階数条件に応じた避難タイプ |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
|  |  | A |  |
|  | $\boldsymbol{\beta}$ | －施設外避難原則タイプ <br> 施設外への避難が原則です。た だし，以下の点に留意する必要があ ります。 <br> －台風や移動性低気圧など，ある程度降雨の予想ができる場合が望ま しい <br> - 避難受入先との連携が必要となる <br> - 避難中に被害に遭うリスクがある | 施設内避難可能タイプ <br> 施設内での避難が可能です。ただ し，以下の点に留意する必要がありま す。 <br> －想定を超えた被災をする可能性があ る <br> －停電等に伴う施設機能の低下によっ て想定した避難ができない場合がある －孤立被害につながる可能性がある |
|  |  | ■施設外避難原則タイプ（準備段階） <br> 施設外への避難が必要な立地•構造•階数の条件にありますが，利用者や運営体制面で避難が困難で す。 <br> 状況を改善するには，スタッフを増 やして利用者に見合った運営体制 を実現するか，外部機関•施設によ る支援体制を強化する等の方策に より「施設外避難原則タイプ」を目指 すことが考えられます。 | ■施設内避難可能タイプ（準備段階） <br> 施設内での避難が必要な立地•構造•階数の条件にありますが，利用者や運営体制面で避難が困難です。 <br> 状況を改善するには，スタッフを増や して利用者に見合った運営体制を実現 するか，外部機関•施設による支援体制 を強化する等の方策により「施設内避難可能タイプ」を目指すことが考えられま す。 <br> また，体制はそのままであっても，設備 の改良や避難対象となる利用者の入居形態の見直し等を行うことにより，状況を改善することも考えられます。 |

## 土砂災害に対する状況想定

本施設で考えられる要配慮者の避難対応が必要となるような土砂災害発生時の状況を，下記に整理する（該当するチェック欄にチェック）。

また，それぞれの想定に応じて，様式 2－1（様式 2－2）に参集基準及び体制 を整理する。

## マ当施設は入所系施設であるため，下記の状況を想定し，様式 2－1 に参集基準及び体制，避難（ 待避）基準を示す

想定1．天候悪化などにより，避難（待避）対応が必要となる状況
想定2．台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき，昼間から夕方にかけて避難（待避）対応が必要となる状況

想定3．台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき，夜間から明け方にかけて避難（待避）対応が必要となる状況

## 口当施設は通所系施設•学校であるため，下記の状況を想定し，様式 2－2 に参集基準及び体制，避難（ 待避）基準を示す

想定4．台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき，
施設•学校を事前に休所•休校する対応がとれる状況

想定5．台風接近などによりあらかじめ状況が想定でき，通常通りに施設•学校を開けているが，
施設•学校を休所•休校する対応がとれる状況

## 役割分担表【主担当：施設長 】

年 月
日作成

## ＜当該施設＞

| 担当 | 業務内容 | 担当者 | 備考 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 総括責任者 | 『 総括責任（避難判断，防災対応につ いての指揮ほか全般） <br> 『 関係機関との連絡•調整 | $\square$ 総括責任者：施設長 $\square$ 代理（1）：部長 $\square$ 代理（2）：課長 |  |
| 情報収集 －連絡班 | 『 気象•災害の情報収集 <br> 職員への連絡，職員•職員家族の安否確認 <br> 『 関係機関との連絡•調整 <br> －利用者家族への連絡 <br> 『 地域住民やボランティア団体，近隣 <br> の社会福祉施設への救援要請等 <br> －避難状況のとりまとめ | ロ リーダー：部長 <br> - 代理（1）：課長 <br> - 代理（2）：係長 <br> ロメンバー：適宜指示を出す |  |
| 避難誘導班 | - 利用者の安全確認 <br> - 施設，設備の被害状況確認 <br> - 利用者への状況説明 <br> V 利用者の避難誘導 <br> - 利用者の家族への引き渡し <br> - 利用者家族への連絡 | ロリーダー：課長 <br> - 代理（1）：係長 <br> - 代理（2）：主任 <br> ロメンバー：適宜指示を出す |  |
| 物資班 | 『 物資の普段からの維持管理 －物資の運搬 －物資の被災時の管理 $\square$ | ロ リーダー：係長 <br> - 代理（1）：主任 <br> - 代理（2）：リーダー <br> ロメンバー：栄養士， <br> 適宜指示を出す |  |
|  |  |  |  |

## ＜協力施設＞

| 担当 | 業務内容 | 協力施設•担当者 | 備考 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 協力施設 | －当該施設へ職員を派遣し， <br> 災害支援にあたる <br> －避難者の受入れを担当する $\square$ | 高齢者福祉施設 $\bigcirc \bigcirc$障害者支援施設 $\bigcirc \bigcirc$ |  |
|  |  |  |  |

# ■緊急連絡網【主担当：連絡綱整備担当】 

年

月
日作成


## ■参集基準及び体制，避難（待避）基準【主担当：施設長 】



## ■情報収集•伝達事項の整理

本施設に関わる災害の危険性などを把握するために情報収集をおこなうととも に，職員や外部機関，利用者家族などへの情報伝達をおこなうことで，円滑かつ迅速な避難誘導へと繋げること目指し，情報収集•伝達事項について，下記に整理する。
（1）情報収集及び情報伝達を担う担当者

- 様式 2（1）に示す「情報収集•連絡班」を基本とする
- 夜間や休日など通常体制と異なる場合は，

「情報収集•連絡班」が参集するまで在勤者が役割を担う
－そのほか
（
（2）情報収集

- 収集する主な情報及び収集方法を，様式 3－1 に整理する。
- 基本的には，下記のような情報を対象とする。
- ＂気象情報＂•＂避難情報＂などの行政からの情報
- ＂雨量＂などの実測値
- 施設周辺で確認される＂土砂災害の予兆現象＂など
－そのほか
（3）情報伝達
- 入手情報の伝達•共有ルートを様式3－2 に整理する。
- また，外部機関との連携が想定される場合には，あらかじめ その旨を相談し，緊急連絡先として整理する。
－そのほか
※事前にウェブサイトをお気に入り登録するなどして，緊急時に備える【使用するPC：利用者情報登録用PC】


■入手情報の伝達•共有ルート【主担当：情報収集•連絡班】
（様式3－2）
年 月 日作成


## ■外部への情報伝達ルート及び緊急連絡先一覧表

## 【主担当：情報収集•連絡班】

年 月 日作成
1．下記の際に外部へ情報伝達をおこなう（該当する体制をチェック）
－第2次体制時－第3次体制時 『避蜼（待避）行動開始時
2．情報伝達ルートは下記のとおりである


3．緊急連絡先一覧表を下記に整理する

|  | 電話 |  | FAX | 担当者 <br> 氏名 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  |  | （夜間） |  |  |
| 協力施設○○ | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |
| 医療施設○○ | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |
| 自治体防災課 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |
| 自治体福祉課 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |
| 自治体消防本部 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | 9999－99－9999 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |
| 消防•救急 | 119 | 119 |  |  |
| 警察 | 110 | 110 |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（樣式3－2（2））
■施設利用者把握資料【主担当：利用者管理担当者】
年 月 日作成
（1）利用者一覧表（基本情報）

| 番号 | 部屋 | 氏名 | 生年月日 | 性別 | 移動時の支援の要否 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 1 | 101 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$ | $9999 / 99 / 99$ | 男 | 必要（車椅子） |
| 2 | 102 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$ | $9999 / 99 / 99$ | 男 | 不要 |
| 3 | 103 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$ | $9999 / 99 / 99$ | 女 | 必要（寝たきり） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（2）利用者一覧表（個票）

| 番 号 |  | 1 |
| :---: | :---: | :---: |
| 部 屋 |  | 101 |
| 氏 名 |  | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |
| 生年月日 |  | 9999／99／99 |
| 性 別 |  | 男 |
| 心身の状態 |  | 高血圧 |
| 服用中の薬 |  | 降圧薬（毎食後） |
| 搬送方法 |  | 車椅子，乗用車 |
| 避難に係る留意事項 |  | 目が悪いため，車椅子などで搬送する必要がある |
| 連絡先1 | 氏名 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |
|  | 続 柄 | 長男 |
|  | 電 話 | 999－9999－9999 |
| 連絡先2 | 氏名 |  |
|  | 続 柄 |  |
|  | 電 話 |  |

## ■緊急時の避難棌導

避難誘導については，下記のとおり行う。
（1）避難場所
－避難場所の名称を下表に整理するとともに，様式 4－1 または 様式 4－2 で図示する。
（2）避難経路
•避難経路について様式4－1 または様式4－2 で図示する。
（3）避難誘導
－避難場所までの移動距離及び移動手段を下表に整理する。

| $\begin{aligned} & \text { 施設タイブ } \\ & \text { チッツク } \\ & \text { (5ベーシ結果) } \end{aligned}$ | 避難方法 | 避難場所 | 移動距離 | 移動 <br> 手段 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| $\checkmark$ | 施設外 <br> 避難 <br> 原則 | $\bigcirc$ ○中学校 | $\begin{array}{r} (500) \\ \mathrm{m} \end{array}$ | －徒歩車両 （ 5 ）台 |
|  | 施設内避難可能 |  |  |  |

※ 施設外避難が原則な場合においても，
大雨等で施設外避難が困難だと想定される場合には，施設内で比較的安全と思われる場所へ待避を行う。
※ 施設内待避が可能な場合においても，今後の状況悪化に不安がある場合などにおいては，避難時間に余裕がある場合のみ施設外避難を行う。

## 施設外遅歡

## 避難ルートと留意点 【主担当：避難誘導班】

施設外避難時のルートと避難の際の留意点を下図（または別紙）に示す。
年 月 日作成



配車計画表
【主担当：避難誘導班】
年 月 日作成
配車計画表

| 便 名 | 3 号車 |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 移送先 | $\bigcirc$ ○中学校 | 人数 | 3 名 |
| 施設内誘導担当 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |  |  |
| 避難先担当 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |  |  |
| 車両 | ダイハツ $\bigcirc \bigcirc$ |  |  |
| 運転手 | $\bigcirc \bigcirc \bigcirc$ |  |  |
| 同乗者 |  |  |  |
| 乗車場所 | 施設駐車場 |  |  |
| 内 訳 | 座 席 |  | 4 名 |
|  | 車いす |  | 0 名 |
|  | リクライニング式車いす |  | 0 名 |
|  | ストレッチャー |  | 0 名 |

# ■備蓄品および災害時必要品チェツクリスト 

（様式5）
【主担当：物資班】

年 月

日作成
避難（待避）の確保を図るため，下表に示す備品（チェックを入れたもの，括弧内には個数）を準備する。また，日頃からその維持管理に努めるものとする。

| $\begin{gathered} \text { 大 } \\ \text { 区分 } \\ \hline \end{gathered}$ | $\begin{aligned} & \text { 小 } \\ & \text { 区分 } \\ & \hline \end{aligned}$ | 品名 | 必要 <br> 物資 | 携行 <br> 品 | 備蓄 <br> 品 | 品名 | 必要 <br> 物資 | 携行 <br> 品 | 備蓄 <br> 品 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| $\begin{aligned} & \text { 食 } \\ & \text { 料 } \end{aligned}$ | 食料品等 | 米（130人分） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | お菓子類（ ） |  |  |  |
|  |  | 飲料水（130人分） <br> ［1人1日3リットル］ | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 栄養補助食品（130人分） ［経管栄養剤，ブリックゼリー等］ | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 炊事 <br> 道具等 | カセットコンロ（ 10 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 厨房の大きな鍋（ 2 ） | $\checkmark$ |  |  |
|  |  | 炊飯器（ 5 ） | $\checkmark$ |  |  | やかん（ 2 ） | $\checkmark$ |  |  |
|  |  | 紙皿（130人分） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 割り箸（130人分） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| $\begin{aligned} & \text { 星 } \\ & \text { 常 } \\ & \text { 生 } \\ & \text { 活 } \end{aligned}$ | 情報機器等 | サーバーー式 |  |  |  | 事務所ノートPC（ 3 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | カルテ管理用 PC | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 携帯電話（ 各自） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | テレビ（ 1 ） | $\checkmark$ |  |  | ラジオ（ 1 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | フアックス（ 1 ） | $\checkmark$ |  |  |  |  |  |  |
|  | 生活 <br> 用品等 | トイレットペーパー（5ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | テイツシュペーパ－（5ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | リハヒビリパンツ M－L（ 5 ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 紙才ムツM•L（5ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | 尿取りパット夜用（5ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | ウェットティツシュ（5ヶ－ス） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | ポータブルトイレ（5ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 女性用ナプキン（5ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | 吸いのみ（ ） |  |  |  | 石けん（ ） |  |  |  |
|  |  | ごみ袋（5ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |  |  |  |  |
|  | 照明， <br> 暖房等 | 石油ストーブ（ 5 ） | $\checkmark$ |  |  | カセットガスストーブ（ ） |  |  |  |
|  |  | 石油（ ） |  |  |  | 蓄電池（ ） |  |  |  |
|  |  | カセットガス発電機（ ） |  |  |  | 懐中電灯（ 10 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | ローソク（ 10ヶース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 電池（ 20 ケース ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | ライター（ 5 ケース ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |  |  |  |  |
|  | その他 | 利用者書類一式 | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 小口金庫 |  |  |  |
|  |  | 勤務表 | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |  |  |  |  |
| 医療介護品品 | 医療品等 | 体温計（10） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 血圧計（ 10 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | SPO2（ ） |  |  |  | 各ユニット薬の板 |  |  |  |
|  |  | 解熱剤（ ） |  |  |  | 補液（ ） |  |  |  |
|  |  | AED（ ） |  |  |  | 消毒液（ 5 ケース） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  | 移送 | ストレッチャー（ 3 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 車椅子（ 10 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 医療施設用 | 酸素濃縮機（ ） |  |  |  | 酸素ボンベ（ 5 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  | 吸引器（ 5 ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 吸引チューブ（ ） |  |  |  |
|  |  | マスク（ 10 ケース ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  | 手袋M•L（ 5 ケース ） | $\checkmark$ | $\checkmark$ |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## ■教育•訓練の年間計画

下記のとお以，教育•訓練を実施する。なお，具体の月日や内容については，施設の状況を勘案しその都度検討することとする。

## （1）避難確保計画の更新•共有

実施予定月 4 月新年度の切り替わりの時期において，
新たな体制を反映した避難確保計画へと更新するとともに，
各班•各職員が避難確保計画を共有できるように努める。
（2）避難に関わる教育•説明
実施予定月
避難対応の必要性が高まる出水期（6月～10月）に向けて，
職員や利用者（家族）を対象に，
避難時に必要となる知識や災害についての知識の習得に努める。
※必要に応じて，随時実施する
（3）訓練の実施
実施予定月
避難対応の必要性が高まる出水期（6月～10月）に向けて，
職員や利用者（家族）を対象に，
避難確保計画に基づく訓練を実施し，その実効性を確認する。
（4）避難確保計画の検証

## 実施予定月

5～6 月
上記の＂避難に関わる教育•説明＂，＂訓練の実施＂や，
出水期（6月～10月）の対応を踏まえて，避難確保計画の
実効性について検証をし，課題や問題の解決に努める。

